

ProMED-mail 情報 2016年 9月版

ProMED-mail <http://www.promedmail.org/> の記事から、感染症業務関係者の皆さまにピックアップ記事を紹介し、FORTH（厚生労働省検疫所の情報提供サイト <http://www.forth.go.jp/>）に掲載されるものは省略しています。

編集：厚生労働省福岡検疫所

掲載日	表題	概要
29日	サル痘 中央アフリカ共和国	9月28日、保健省はBasse-Kotto州の南部地域で19例以上の患者が発生し、10人以上死亡と発表。2016年、2回目の流行。
22日	クリミア・コンゴ出血熱(更新) スペイン	本疾病で死亡した患者を看護していたスペイン人看護師が発症し入院したが、9月21日に無事に退院。マドリッド地方局は、退院した看護師は通常の生活が可能で、健康監視の必要なしと発表。
22日	鳥マラリア(ペンギン) イギリス	9月21日、Wiltshire州のLongleatサファリパークで、かなりの数のフンボルトペンギンが鳥マラリアで死亡。空中の蚊による感染と考えられる。鳥マラリアは人間には影響ないが、ペンギン島を閉鎖。
21日	ジフテリア パキスタン	Punjab地域のKul村で、この2週間に2人の兄弟を含む3歳～9歳の5人の子供が感染し死亡。このほか12人の子供が感染。この地域にはジフテリア抗毒素が不足。
13日	ウエストナイル熱 ルーマニア	8月の1か月間に40人が感染。2015年1年間の感染者数を上回った。8月に4人が死亡。8月の感染者の年齢は70歳代が14人と多く、50歳代、60歳代、80歳以上と続く。
13日	毒ヘビによる咬傷 ベトナム	Mekong Delta地方では毎月平均100人以上の住民が、学名‘Trimeresurus albolabris’ という有毒爬虫類である緑ヘビに噛まれる。毎日6～7人入院。この毒ヘビは都市部の住宅地にも出現する。
10日	マラリアの排除 スリランカ	WHOは9月5日、スリランカをマラリアのない国と認定。マラリア患者は1970年代に急増したが、蚊と寄生虫への対策により、2006年に患者が1000人未満となり、2012年10月以降患者発生なし。
10日	ツツガムシ病 ネパール	8月24日、Dhading地方の30歳男性が悪寒を伴う発熱、頭痛、腹痛、咳、吐き気、聴覚障害の症状で入院。ELISA法で陽性。聴覚障害の合併は稀で、ネパールでは第一報告例。
9日	麻疹 日本(関西空港)	関西空港では、8月17日に国際線の20代女性従業員が感染1例目となり、3週経過し計39人が感染。9月8日よりワクチン接種歴のない若手空港職員を対象に麻疹ワクチン接種を開始。
9日	鳥インフルエンザH5N6(家禽) 中国	貴州省で新たに流行し、7,167羽が死亡、16,717羽を殺処分した。流行の原因は不明。
6日	マラリア ベネズエラ	2016年1月～8月20日までに、143,987人の患者発生。2015年の同時期の患者数は83,623人で、72.2%増加。2015年全期間の患者数は136,402人。南米では最悪の患者数。抗マラリア薬と診断キットが不足。
3日	A型肝炎 米国(ハワイ)	8月31日現在、患者数は241人に増加したが発症のピークは過ぎた。これまでに64人が入院。保健局は、Oahu島とKauai島の元気寿司食堂で提供されたフィリピン産の汚染した冷凍ホタテが原因と判断。
2日	ジカウイルス感染症 シンガポール	8月27～28日に1例目の感染者を報告後、感染者数は増加。初期の感染者は海洋部門の建設現場に従事するアジア大陸からの出稼ぎ労働者だが、どの国から入国したのかシンガポール政府は公表せず。当局は外国人労働者の寮を含む数千の家屋を検査、殺虫剤噴霧、蚊の繁殖生息地を除去。
1日	クリミア・コンゴ出血熱 スペイン	Madrid地域保健当局は2例の患者を発表、初めての国内発生例。62歳の男性は8月25日Madridの大学病院で死亡。この男性はCaster Leonの田舎で散歩していてダニに咬まれた可能性あり。2例目の患者はこの男性を看護していた集中治療室看護師で患者の体液に接触した可能性あり。看護師は8月31日に特殊救急車で感染症専門病院の集中治療室へ入院。2人の患者と接触した200人以上が自宅停留、新たな感染者なし。
1日	日本脳炎 韓国	光州広域市の50代の男性が8月16日に高熱とけいれんで入院。日本脳炎と確定診断された。本年の海外渡航歴はなく、国内感染。2016年、国内1例目の患者。